



## 新緑のブナ林から冬の霧氷まで 魅力満載の山

山頂からの眺望は素晴らしく、東に雨乞岳、鎌ヶ岳の鈴鹿山地、伊勢湾が見られ、西には近江盆地、琵琶湖の向こうには比叡山、それに連なる比良山地を遠望できます。秋、冬には木曾御嶽、白山、乗鞍岳も望めます。

春のブナの芽吹きから新緑のブナ林、秋の紅葉と見どころは多いうえ、冬は霧氷、樹氷も素晴らしく、一年を通じて登山者に人気があります。

日野町内にある馬見岡綿向神社の奥宮である大嵩神社が山頂にあり、綿向山はその神体山として、地域の人たちに親しまれています。綿向山は、標高が1,110mであることから、11月10日が「綿向山の日」に制定されており、この日は毎年多くの登山者で賑わいます。

冬期間は、7合目から冬期ルートに登り山頂をめざします。

### 綿向山の概要

綿向山は、鈴鹿山脈の一峰で最も滋賀県側に突き出た部分で、ここから雨乞岳へと続いていきます。

中腹までは、スギ、ヒノキのきれいな植林地が広がりますが、7合目付近からはブナやミズナラなどの自然豊かな広葉樹林が残っています。

登山中は、多くの花に出会うことができ、中には綿向山で最初に見つかったワタムキ

アザミも見ることができます。

途中には、いくつもの小屋があり、休憩することができます。また、山頂には「青年の塔」と呼ばれる大きなケルンがあります。登山道や山頂などは地元の方々の好意で整備が行き届いています。

■標高 / 1,110m ■標高差 / 723m  
■地図 / 国土地理院 日野東部



### コースのポイント



- A ヒミズ谷出合小屋
- B あざみ小屋
- C 五合目小屋 夢咲の鐘
- D 七合目行者堂
- E 綿向山頂上



コースのバラエティ

綿向山に登るコースには、大まかに4つのコースがあります。季節や時間、体力などに応じて選んでいただければ、いくつもの楽しみ方ができますので挑戦してみてくださいいかがでしょうか。

①表参道コース

■行程 8km 4.5時間

御幸橋から出発し、表参道登山口から山頂をめざすポピュラーなコース。御幸橋には駐車場があります。御幸橋から川沿いに進み、ヒミズ谷出合小屋のある登山口から橋を渡り植林の中の登山道を登ります。

ジグザグの登山道を登っていくと一旦、水木谷林道に出ますが、また登山道に入ります。この登山道に入るとあざみ小屋があり、そのまま進むと展望が開け、五合目の小屋にたどり着きます。七合目の行者コバまでくるとブナ林が広がります。ここには、行者堂があり、

役行者像と不動明王像が祀られています。八合目で水無北尾根道と合流し、少し行くと金明水があります。金明水を過ぎ、最後の急な階段を上り、鳥居をくぐると頂上です。下山は同じ道をたどります。

②山頂から竜王山を経由して下山するコース

■行程 11km 5.5時間

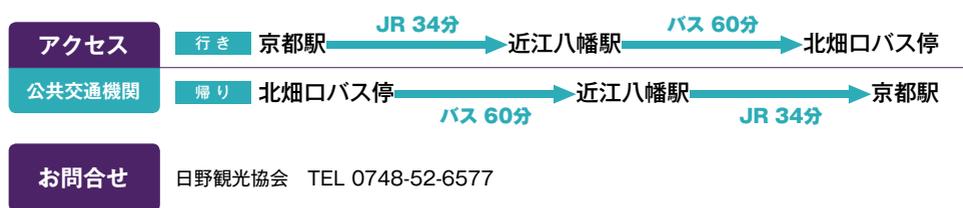
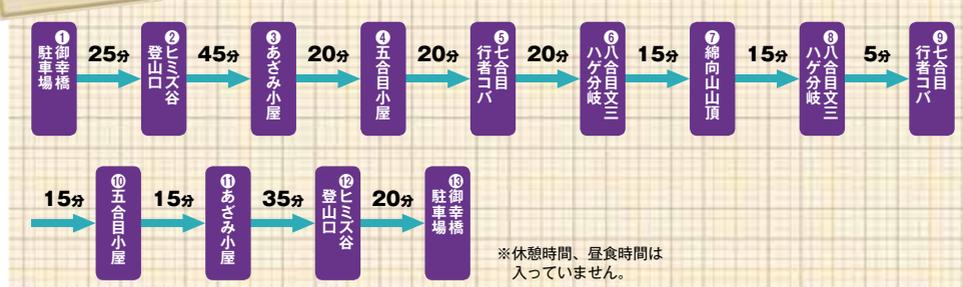
綿向山から稜線を北に向かいます。稜線は背の低いブナの木が多く、途中には「幸福ブナ」と名付けられた変形したブナがあります。春にはたくさんのシャクナゲを見ることができます。急な下りが続き、注意して下る必要がありますが、鉄塔のあるピークを過ぎると、竜王山に到着します。

下りは階段を下りますが、急な坂にはロープが張られています。千畳平の平坦地を過ぎて下ると林道に出ます。竜王山の登山口です。

コースマップ



コースタイム



地元のおすすめ

ブルーメの丘

農業と観光、ドイツ・バイエルン地方の文化を融合させた農業公園。ソーセージ作り体験などができます。



■所在地 / 日野町西大路864-5  
■電話 / 0748-52-2611

近江日野商人の町並み

日野では、古くから関東方面に出店を持つ商人を輩出したことから、今も町並みに当時の面影を残し、落ち着いた家並みが見られます。



■問合せ / 日野まちかど感応館  
■電話 / 0748-52-6577

コラム

御在所岳

滋賀県と三重県の県境にあり、花崗岩が浸食された巨岩・奇岩が多く、山頂からの眺望は素晴らしいものがあります。三重県側の湯の山温泉からは山頂直下まで御在所ロープウェイがあります。



鎌掛谷ホンシャクナゲ群落

国の天然記念物に指定されているホンシャクナゲの群落。口の割谷から女木谷にかけて特に多く自生しており、斜面約4万㎡に約2万本の群落を作っています。

